

第1学年生活科学学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日
5校時 13:25～14:10
学校名 小学校
対 象 第1学年2組 27名
会 場 教室
授業者 〇〇 〇〇

1 単元名 がっこう だいすき

2 単元目標

学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、学校生活を支えている人々や友達のことを分かるとともに、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校したりすることができるようにする。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
学校探検・学校の人に質問する・通学路の歩き方を通して、学校での生活は、さまざまな人や施設と関わっていることを理解している。	学校探検・学校の人に質問する・通学路を歩く活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と自分の関わりを見付けている。	学校探検・学校の人に質問する・通学路を歩く活動を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりしようとしている。

4 指導観

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年7月告示）生活編第2章第5節生活第2の2(1)の内容で、

(1) 学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりしようとする。

を受けて、設定した。

児童は学校において、先生や友達と一緒に遊んだり学んだりして共に生活する楽しさを味わい、学校のことや生活のことが分かり、集団生活の中で自分の行動の仕方を学んでいく。

本単元では、児童が学校生活を送るにあたり、楽しくより豊かに広げていこうとする意識を持ち続けられるように工夫する必要がある。また、入学直後の単元であるため、生活科を中心としたスタートカリ

キュラムとして、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定を行う必要があると考える。

(2) 児童観

入学直後は、学校生活に戸惑う児童がいたので、スタートカリキュラムとして、幼稚園・保育園での生活内容と同様な学習活動（読み書かせ、手遊びゲーム、絵を描く）など意図的に取り入れた。入学して一カ月経った今では、学校生活のきまりや学習のきまりを学び、多くの児童が楽しく学校生活を送っている。小学校は、多くの友達や先生と仲良く学ぶところ、そして、楽しく学校生活を送ることができるのは、友達・先生・地域の人々に支えてもらっていることに気付ける児童を育てたいと考えている。

(3) 教材観

本単元は、生活科の学習として、初めての単元である。児童にとって、学校は、友達と一緒に遊んだり、学習したりすることを通して、大きく成長する場となる。そこで、学校のことを知るために、いろいろな所を探検することや学校で働く人々のことを知ることで、多くの人と関わり合いをもって生活することを学んでほしいと考える。また、事前に、教職員に学校探検をすることの趣旨を伝え、協力体制を整える。

5 年間指導計画における位置付け

	単元名	時数
第1学期	どきどき わくわく 1ねんせい	8時間
	がっこう だいすき (本単元)	20時間
	きれいにさいてね (2学期も含む)	8時間
	なつがやってきた	8時間
第2学期	いきものとなかよし	6時間
	たのしい あきいっぱい	21時間
	じぶんでできるよ	12時間
第3学期	ふゆをたのしもう	9時間
	もうすぐ2ねんせい	18時間

6 単元の指導計画と評価計画（全 11 時間）

時	目標	○学習内容 ・学習活動	評価規準（評価方法）		
			ア	イ	ウ
1 時	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">がっこうのことが、しりたいな</p> <p>幼児期に使っていた部屋を思い出し、小学校と共通している場所があるかどうか話し合う。</p>	<p>○幼稚園・保育園にはどんな部屋があったか話し合い、小学校にも同じ部屋があるかどうか予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園長室は、小学校では校長室というと思う。 ・プレイルームは体育館と似ているかもしれない。 ・図書室は同じかもしれない。 	話 合 い		発言
2 時	<p>予想通り、共通している場所があるか全員で校内を見て回り、学校施設の位置や使い方に気付く。（学校探検 1 回目）</p>	<p>○全員で校内を探検する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図工室は 2 階にあった。 ・お兄さんやお姉さんが勉強していた。 ・音楽室に太鼓があった。 		活動 学校探検	
3 時	<p>学校はさまざまな教室があることを知り、もう一度行ってみたいという学習につなげる。</p>	<p>○見学後、園と同じ部屋や、園とはちがう部屋があったかどうか比べるために話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園と同じで、図書室に本がたくさんありました。 ・園とちがって、職員室は広かったです。 	話 合 い		発言
4 時	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">ともだちと がっこうたんけんをしよう</p> <p>もう一度、詳しく見たいところについて、班で学校探検について計画を立てる。</p>	<p>○クラス全員で校内を見て回ったことを思い出し、行きたい場所や順番を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 グループを 3 人～4 人とし、1 人ずつ行きたい場所を発表する。 	話 合 い		発言
5 時	<p>班で計画したことをもとに、学校探検に取り組む。</p>	<p>○班ごとに学校探検を行う。</p> <p>○教師が探検の視点をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がすごいと思ったこと ・友達に教えてあげたいこと。 		活動 学校探検	

		・出会った人			
6時 +国語1	探検後、見つけた物や出会った人を友達と伝え合い、学校の施設の特徴に気付くことができる。	○学校探検で見つけた物や出会った人を絵で表現する。 ○教師が、班ごとに出てきた気付きをカードに書く。 ・音楽室→太鼓の絵 ・家庭科室→お皿の絵 ・校長室→歴代の校長先生の絵 ・主事さん→が廊下の掃除をしている。 ・副校長先生→職員室でお仕事をしている。		カ ー ド	発 言
7時	がっこうにいるひと 学校探検をして、学校にはいろいろな人がいることに気付き、どんな仕事をしているか話し合う。	なかよくなりたいな ○学校には、いろいろな仕事をしている人がいることを理解する。 ・図書室に先生がいた。 ・副校長先生がお仕事をしていた。 ・お兄さんやお姉さんの先生がいた。	話 合 い		発 言
8時 (本時)	もっと学校のことを知りたいという思いをもち、学校にいる人に質問をしたいことを話し合う。	○学校にはどんな人がいるか話し合う。 ○学校にいる人に質問したいことを班で話し合う。 ・校長先生→どんなお仕事をしていますか。 ・栄養士の先生→何人分の給食を作っていますか。 ・	話 合 い		発 言
9時 +国語1	学校にいる人に質問をし、学校にいる人々の働きや役割を理解する。	○学校で働いている人に、どんな仕事をしているか質問をしたり、聞きたいことを質問したりする。 ・主事さん→どんなお仕事をし		活 動 ワ ー ク シ ー ト	

		<p>ているのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の先生→何年生にどんなことを教えているのですか。 ・〇年生の先生→どんなお勉強をしているのですか。 			
10時	<p>質問をしたことを友達と伝え合い、学校にいる人々の働きや役割に気付くことができる。</p>	<p>○質問をして分かったことを友達に伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士の先生が給食のメニューを考えて、調理員さんが作っています。 ・主事さんは、廊下やトイレをそうじしてくれます。 ・〇年生の先生は、漢字やかけ算の勉強を教えています。 		ワークシート	発言
11時 +行事 交通安全 教室	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>みんなで つうがくるを あるこう</p> </div>			活動	
	<p>○みんなで、通学路を歩き、横断歩道の歩き方などを理解しながら、安全に気を付けて行動することができるようにする。</p>	<p>○警察署の方から、安全に登下校するために横断歩道の歩き方を聞いて、通学路を歩く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道を歩く時は、手を挙げて右・左・右を見てから、歩く。 			

7 指導に当たって

- 学校探検を繰り返し行うことで、学校にはいろいろな施設があることや、いろいろな人が学校で働いていることを理解し、自分達の学校生活を支えてくれていることに気付かせる。
- 児童は、学校探検をして出会った人や見付けた物と関連させて、聞いてみたいことを考えられるように指導・助言をする。
- 国語の「話す・聞く」学習活動と関連させて、自分の考えを進んで発表したり、友達の考えを聞いたりする。
- 文字で十分に表現することができないため、気付きを絵で表現し、教師が児童の伝えたいことを言葉で表現することを支援する。

8 本時（全 11 時間中の第 8 時）

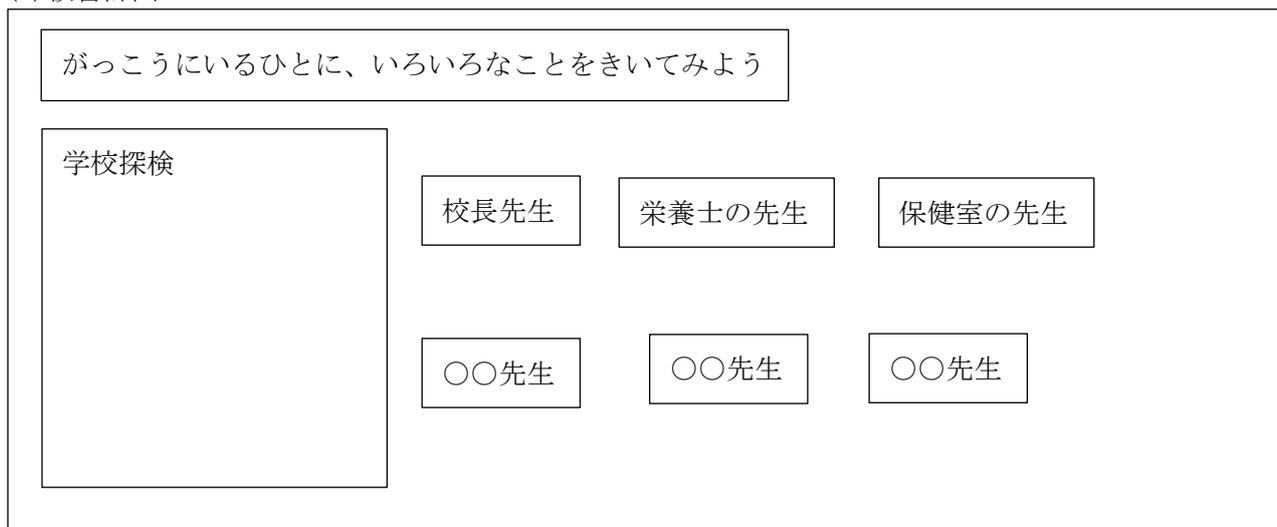
(1) 本時の目標

もっと学校のことを知りたいという思いをもち、学校にいる人に質問をしたいことを話し合う。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	*指導上の留意点	評価規準（評価方法）
導入 10分	○学校探検をして、学校にはどんな人がいたか、想起する。 ・校長先生 ・副校長先生 ・図工の先生 ○学校で働いている人は、どんな仕事をしているか予想する。 ・校長先生は、学校の仕事をしている。 ・図書室の先生は、本の貸し借りをしている。 ・主事さんは、学校をきれいにする。	*学校探検の地図を掲示し、活動したことを想起させる。 *児童が物を描いているカードから、考えを発表させるようにする。	ウ 学校探検のことを振り返って、進んで発表しようとしている。
展開 15分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> がっこうにいるひとに、いろいろなことをきいてみよう </div> ○だれに、どんなことを聞きたいかを全体で話し合う。 ・校長先生→どんなお仕事をしていますか。 ・栄養士の先生→何人分の給食を作っていますか。 ・主事さん→どんなお仕事をしているのですか。 ・英語の先生→何年生にどんなことを教えているのですか。 ○聞いてみたい人を選び、グループ作りをする。 ○聞きたい相手ごとにグループを作り、どんなことを聞きたいか発表する。	*学校探検をした時に会った人や見付けた物に関連させて聞きたいことを考えさせる。 *1年生の学校生活に関わりがある人を挙げさせる。 *氏名カードを利用してグループ作りをする。 *どんなことを聞きたいか教師が聞いて、板書する。	イ学校で働いている人にどんなことを聞いてみたいか選んで、進んで発表している。 A評価 聞いてみたい人を選び、聞きたいことを考えている。 B評価 聞いてみたい人は選べるが、聞きたいことは考えられない。 C評価 聞いてみたい人、聞きたいことについて、どちらも考えられない。
まとめ 5分	○次の学習予定を確認する。		

(3) 板書計画



(4) 授業観察の視点

- ・学校探検をしたことをもとに、児童は聞いてみたい人を選び、どんなことを話したいかを考えていたか。
- ・グループ編成を作って、聞きたいことを相談する学習活動は、本時の目標を達成する上で有効であったか。